

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	プログラミング
科目基礎情報					
科目番号	116818		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	使用しない/自作教材資料				
担当教員	二橋 創平				
到達目標					
1) プログラミングに関する基礎知識を習得する。 2) 基礎的なプログラムを作成できる。 3) 出力処理を行うプログラムを作成できる。 4) 入力処理を行うプログラムを作成できる。 5) 数学処理を行うプログラムを作成できる。 6) 繰り返し処理を行うプログラムを作成できる。 7) 条件文を使ったプログラムを作成できる。 8) これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを作成することができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	プログラミングに関する基礎知識を習得し、この知識を用いることができる。	プログラミングに関する基礎知識を習得し、この知識を説明することができる。	プログラミングに関する基礎知識を習得し、この知識を説明することができない。		
評価項目2	基礎的なプログラムを自在に作成できる。	基礎的なプログラムを作成できる。	基礎的なプログラムを作成できない。		
評価項目3	出力処理を行うプログラムを自在に作成できる。	出力処理を行うプログラムを作成できる。	出力処理を行うプログラムを作成できない。		
評価項目4	入力処理を行うプログラムを自在に作成できる。	入力処理を行うプログラムを作成できる。	入力処理を行うプログラムを作成できない。		
評価項目5	数学処理を行うプログラムを自在に作成できる。	数学処理を行うプログラムを作成できる。	数学処理を行うプログラムを作成できない。		
評価項目6	繰り返し処理を行うプログラムを自在に作成できる。	繰り返し処理を行うプログラムを作成できる。	繰り返し処理を行うプログラムを作成できない。		
評価項目7	条件文を使ったプログラムを自在に作成できる。	条件文を使ったプログラムを作成できる。	条件文を使ったプログラムを作成できない。		
評価項目8	これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを自在に作成することができる。	これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを作成することができる。	これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを作成することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	本講義では、C言語の基本文法やアルゴリズムを理解し、問題解決のためのプログラムを作成することができることを目標に授業を行う。				
授業の進め方・方法	講義形式でC言語の文法やアルゴリズムを説明する。また課題を提示するので、各自プログラミングを行う。試験で7割、課題提出で3割を基準に、総合的に判断して評価する。合格点は60点以上とする。評価が60点に満たない場合は再度試験を実施して、この試験に合格した場合は60点を与える。詳細は第1回の授業で説明する。				
注意点	講義は、原則CAI室で行う。授業時間のみならず自学自習時間にも課題に取り組みむこと。課題が不完全である場合には、再提出を求める場合がある。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	プログラミングの基礎知識	プログラミングに関する基礎知識を習得する	
		2週	C言語の文法	基礎的なプログラムを作成できる	
		3週	出力処理	出力処理を行うプログラムを作成できる	
		4週	出力処理	出力処理を行うプログラムを作成できる	
		5週	入力処理	入力処理を行うプログラムを作成できる	
		6週	入力処理	入力処理を行うプログラムを作成できる	
		7週	数学処理	数学処理を行うプログラムを作成できる	
		8週	数学処理	数学処理を行うプログラムを作成できる	
	4thQ	9週	繰り返し処理	繰り返し処理を行うプログラムを作成できる	
		10週	繰り返し処理	繰り返し処理を行うプログラムを作成できる	
		11週	条件文	条件文を使ってプログラムを作成できる	
		12週	条件文	条件文を使ってプログラムを作成できる	
		13週	応用演習	これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを作成することができる	
		14週	応用演習	これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを作成することができる	
		15週	応用演習	これまでに修得した知識を用いて、課題を解くためのプログラムを作成することができる	
		16週	定期試験		
評価割合					

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0